



学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
5月の1

四年生で楽しみなこと
私が楽しみなこと、校外学習で下水しより場に行くことです。なぜかという、下水しより場にいる人はどんなことをしているか、わたしたちの使った水は下水しより場に行った後、どこに行くのかを早く知りたいからです。それに、お姉ちゃんが下水しより場に行き、「勉強になった。」
と言っていたからでもあります。お姉ちゃんは、ひみつと言って教えてくれたので、自分で行ってみたいので、コナナたいさくなどをして、行けたらいいなと思います。作文を書いて、もっと下水しより場に行くのが楽しみになってきました。



新学期が始まって1ヶ月あまりが経過しました。ついこの間まで1階の教室で学習していた四年生は、2階へ上がり勉強に励んでいます。「間違っ

て前の教室に行ってしまった！」という子もいましたが、今は、下駄箱から靴を履き替えるるとすぐに階段があがっています。4年生になり、新たな目標を持って生活しようという意気込みも感じられます。授業中は、自分の思いをどんどん発信し、その結果としてみんなが充実した学習ができるよう指導していきます。1人1台のタブレットが市内小学校に用意され、今年度から各学年でも活用しています。

四年生になってがんばりたいこと
わたしが四年生になってがんばりたいことは、四十七都道府県を全ておぼえることです。また、漢字二百二字も全部おぼえたいです。わたしは、一年間を通して、四十七都道府県をしっかりと暗記したいです。四十七都道府県をおぼえれば、地図やテレビを見る時、どこにあるのかが分かって、見るのがおもしろいと思ったからです。また、旅行に行く時に、どれだけ遠いのか分かって、ひまつぶしの時に持って行った方がいい物を持って行けるからです。

漢字二百二字をおぼえたいと思った理由は、おぼえていたら、文を書くときに使っていると読みやすくなるからです。また、小学生で習う漢字の中では、一番多く習うので、おぼえているとべんりだし、かっこいいと思ったからです。

この二つの目ひょうをたっせいするためにたくさん練習します。たくさん練習して目標をたっせいしたいと思います。

早速四年生では、社会科において環境調べをするため、タブレットを操作しました。ゴミ処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現していこうという学習でした。情報活用能力は、教科等を超えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力として位置付けられています。情報活用能力とは、課題や目的に応じた情報手段を適切に活用すること、必要な情報を主体的に収集・表現・処理・発信すること等がこれにあたります。今後一層進展する高度情報化社会を生きていく上で重視される情報活用能力ですが、獲得した情報を自分の中で消化し、それらをクラス全体に発信していかないと深い学びにも繋がりません。タブレッ

トを操作しただけで決して終わらないよう、授業を創っていかねばなりません。



2年生活躍!

「1年生に学校紹介をしよう。1年生が楽しんでくれるような企画を考え、実行しよう。」という目標のもと、4月30日(金)に2

年生が特別教室(校長室含む)などをクイズを通して案内しました。1年上の先輩たち、この日のために各グループで何回も作戦を練ってきました。2年生の感想です。

○初めて1年生に学校のことをつたえました。○1年生に学校のことをおしえようと思いました。さいご、みんなで「ありがとうございました。」といえなかったけど、ちがうところで大せいこうしたから、よかったです。○1年生といっしょにスタンプラリーやクイズなどがたのしかったです。○1年生のかんそうで、「おもしろかった。」「うれしかった。」「たのしかった。」などといってくれて、うれしかったです。「たのしかった。」がいっぱいいくことができよかったです。○クイズをしたりスタンプラリーとかで、少しもだちができてよかったです。

【生活科】1・2年生で展開している生活科の目標とは・・・

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する



2年生にとって1年生を楽しませようと、あれこれアイデアを出し合いました。友だちとの考えにすれ違いもあったことでしょう。しかし、話し合いの中で折り合いを付ける力も必要です。生活科を通して、人として必要な資質・能力を育てていき

ます。また、実行した後の振り返りも大切です。思うようにできたか、できなかったか。改善点はどこにあるか等、事後指導も行います。

遠足に行きました!

連休明けの6日(木)、10時に園を出発し、よし池公園と春日神社に行きました。特に、幼児にはよし池公園がいいです。

複合遊具もさることながら、地面が芝と草で覆われ、安心して走ったり跳んだりしています。そんな様子を見ながら、本園も早く芝生にならないかと思いました。毎朝園庭をみています。先日はお世話になった業者さんから、化成肥料をまくようにと言われたので蒔いておきました。

一生に一度しかないゴールデンエイジ期に昔遊びを取り入れます。ケンケンパ、ゴム跳び、鬼ごっこ、メンコ、缶蹴り、凧揚げ、竹馬等々。これらの昔遊びには、運動神経の向上と体幹を鍛える要素がたくさん詰まっています。バネのように跳ねる力、バランス力、空間認知力、走力、ピタッと止まる姿勢制御、ストップ動作、投げる動作、肩の使い方などがそれに当たります。計画的に遊びを取り入れることで園児のバランスのよい身体をつくっていきます。また、食事も身体づくりには欠かせない大切な要素です。栄養教諭の指導のもとと作っていただいている毎日の学校給食を残さずさっと食べる子、もぐもぐと食べる子をめざしています。ご家庭でもお子様の食事の様子を観察してください。

